

手や足の動きで 「みーつけた！」

みーつけた！日

ママがお手伝いしてあかちゃんの手を口に持ってくると吸う

「最初に自分の手の存在を認識するのは自分の口なんです」

手のひらにママの指を入れるとぎゅっと握る

「手のひらに触れたものを握るのは一時的な正常な反射です」

手どうしを握る

「手が反対の手を見つけました」

からだをくすぐると、伸ばした手足を曲げ
床から上げる

「重力に対抗して手足を上げることが出来るようになりました」



左右の足の裏を合わせてこする

「歩くときに使う足裏の準備体操です」



辛かった分だけ幸せを感じれます。ご自身を責めるのだけはやめて下さいね。どうかご自身のお心を大切になさってください。

おもちゃで遊んで
「みづけた！」その①

みづけた！日

おもちゃをどちらか一方の手に近づけて
触れた時につかむ

「自分でつかみに行けるようになりました。ミトンなどを外して、
手の感触を学ばせてあげましょう」

片手でつかんだおもちゃを口に近づけたり
唇につけたりする

「硬い・やわらかい刺激を口で感じて調べてます」
「はじめは距離がわからなくて顔にぶつけたりしますが、
口と手の距離を学んでいます」

ガラガラを赤ちゃんの見えるところで見せると
赤ちゃんが手を伸ばす

「手が自由に動き始めて距離や方向が分かるようになります」

おもちゃを両手で持って、
手の中で回しながら口で遊びます

「両方の手が協力してできるようになりました」



まさか自分が早産になるとは思わず毎日泣いたり自分を責めたりと辛い毎日でしたが、
子どもが大きくなったり出来ることが増え子どもの生命力に励まされ感動しました。

おもちゃで遊んで
「みつけた！」その②

みつけた！日

片方の手におもちゃを持っているときに、
反対側の手におもちゃを持たせると、
両方の手に別々のものを握る

「見ていない方の手もちゃんと握って、見比べたりします」

おもちゃを他方の手に持ち替える
「後に『ちょうどいと/or/うご』と渡してくれる』に発展します」

左右に持ったものを打ちつけて音を出す
「物と物との関係を調べ始めました」

うつ伏せや座位でおもちゃで遊ぶ

うつ伏せや座位の姿勢が安定するようになりました。
周囲のおもちゃに手を伸ばしていきます。


色々な心配はあると思うけど、あなたは1人じゃないよ。



赤ちゃんと家族の 「みつけた！」

赤ちゃんは、小さく生まれてもそれぞれのスピードで確実に成長していきます。その中でたくさんの「みつけた！」に出会います。

赤ちゃんがはじめてできたことやはじめての行事等を書いてみましょう。

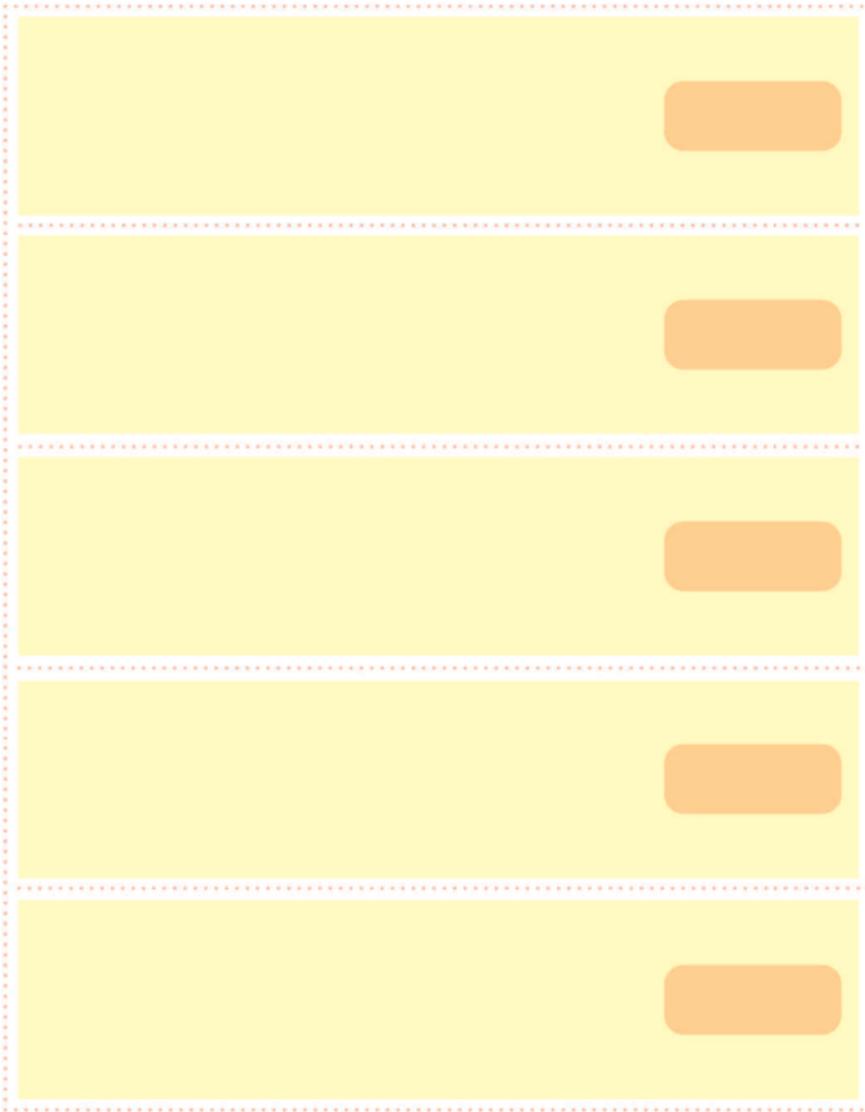
はじめて記念日を記載しましょう

例)はじめての散髪

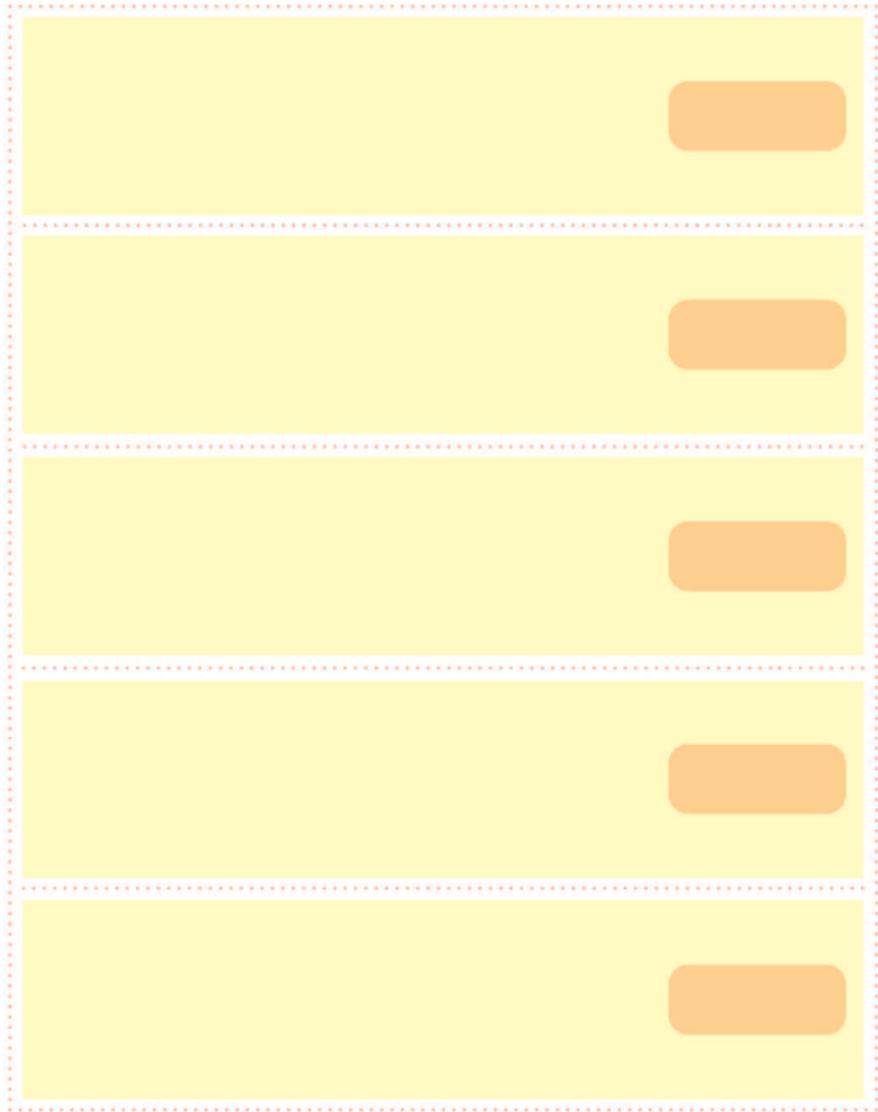
みつけた！日



小さく生まれたことを私も息子も、今は誇らしく思っています！



パパ、ママに早く会いに来てくれて”ありがとう”という気持ちを大切にこれから始まるベビーちゃんとの貴重な日々を楽しんでください。



今後の成長や発達についても、ただ不安を感じるばかりでしたが、NICUの方々、小児科の先生方が全身全霊で娘の成長をサポートしてくださいました。

身体計測の記録（発育曲線）



極低出生体重児（1,500g 未満）発育曲線

このハンドブックの成長曲線（平成4～6年度旧厚生省心身障害研究）は、全国の医療機関で1,500g未満で生まれた赤ちゃんのうち、比較的順調に経過した子どもの成長を基に作成されました。個人差もあるので、あくまで「目安」と思ってください。このハンドブックの発育曲線のほか、母子健康手帳の発育曲線に修正月齢で記入するなど、自由にご活用ください。

修正月齢

修正月齢とは、暦月齢ではなく出産予定日からの日数で日齢や月齢を数える方法です。発育（からだの成長）や発達（首のすわりなど）については、修正月齢で評価するとよいでしょう。例えば、在胎32週出生のお子さんは8週早く生まれていますので、生後4か月の時に修正2か月になります。首のすわりは通常生後4か月頃に完了しますが、暦月齢が4か月であっても修正2か月であればまだすわっていないなくて問題ありません。通常3歳頃までは修正年齢を用いた発育・発達の評価が行われます。



赤ちゃんのお母さんとお父さんは2人だけですが、リトルベビーの保護者はたくさんいます。仲間はたくさんいます。